

# 雪が醸した自慢の味

## 「雪中酒」出荷始まる

飛騨市河合町の北飛騨商工会むらおこし実行委員会(清水昭南委員長)は一日、同町特産の「雪中酒」の出荷を始めた。この日は千二百本で、残り四千八百本も月内に四回に分けて出荷する。

雪中酒は、豪雪地帯ならではのPRをと、同実行委が十六年前に始めた商品。渡辺酒造店(同市古川町)に醸造を依頼し、天生の岩清水と地元の酒米「ひ



雪を詰めた箱に「雪中酒」を収める作業参加者ら＝飛騨市河合町で

だほまれ」を使って仕込んだ吟醸酒を、断熱シートで覆った約六千立方分の雪室で約四カ月間、寝かせていた。出荷作業では、商工会や同酒造店の約三十人が雪室から出した酒瓶を、雪を詰めた箱に入れ、モモの小枝なども添えてトラックに載せていた。七百二十リットル入り一本三千五百円、二本五千七百円(送料、税込み)。問い合わせは、販売

を担当する船谷酒店  
 電0577(65)2261へ。

(平野誠也)